

平成27年度 学校評価総括表 伊丹市立稲野小学校

教育目標		人間尊重を基盤として 豊かな心と健康な体をもち 主体性・連帯性のある子どもを育てる 一いきいき なかよくのびのびと 笑顔あふれる 稲野小学校ー						
重点目標		○基礎・基本の徹底を図る ○ペア学習やグループ学習、ジャンプのある課題を取り入れ、深く考えさせる授業づくりを進める ○一人一人の居場所のある学級集団を創る ○健やかで、あいさつ・掃除など基本的生活習慣の徹底を図る ○ルールブックの活用や冒険教育、読書活動を充実し、豊かな心の熟成を図る ○地域の教育資源を生かした教育活動を進める						
項目		重点項目	具体的施策	達成目標	自己評価	成果と課題	改善策	学校関係者評価
学力の向上	基礎・基本の徹底と授業改善	・基礎的、基本的な知識、技能を習得させる。	・朝学習(読書・視写・漢字・計算・スピーチ)の時間を確保する。	・朝学習の時間に基礎基本の学習を進めることができる。	A	○朝学習の時間を確保し、学習を進めることができた。	・朝学習に使えるプリントを毎年使えるように残しておく。 ・テストの直しや再テストなど、できていない部分への対応を確実に行い、理解から定着を図っていく必要がある。 ・よりわかりやすい授業にするために単元の前に小テストをする。また、授業のはじめに前時の振り返りをいれる。	・わからないことを子どもたちが、自分から先生に質問できるのはとても良いことです。 ・教職員の研究会や研修会が定期的に行われているのも大変良いことです。 ・進んで研修をされている姿勢が素晴らしい。これからさらに同僚性、専門性を高めていってほしい。
		・子どもたち一人ひとりの個性や能力に応じた教育を推進する。	・反復練習のためのプリントを作成・活用し、基本事項の反復練習をする	・反復練習により、既習内容を確実に身につける。		○プリントによる反復練習で基礎的な学力は定着してきている。	・理解しにくい児童への個別指導の時間を確保する。 ・単元の終わりに振り返りの時間をとる。 ・学力の向上の要は、居場所のある集団作りである。「質問しやすいクラス」の雰囲気づくりや「わかりやすい授業づくり」を聴きあう関係作りから始める。教師の自主研修「ひつじの会」や「パワーアップ研修会」の充実で力量を高める。 ・来年度は、内容の充実を図る。また、積極的に授業を公開するなど相互に専門性を高めあう同僚性の高い教師集団を目指す。	・研修の中で座席の並び方などについても、考えながら、子どもにとって学びやすい環境に整えてください。
	・個々の教師の資質を向上させる。	・校内研修の枠を広げ、自主的に授業公開を行い、互いに見合う機会を増やす。	・全ての教師が、年間10回以上授業を見る。		○ほぼ達成できた。 ○他校での授業についてはレポートを書き、紹介した。 ○他の教師の授業を見ることにより自分の振り返りができ、授業改善につながった。			
	思考力・判断力・表現力の育成	・「読む力」を向上させる指導法、教材を研究する。	・理解につながる読みの力をつけるため、「本読みテスト」続ける。	・国語の本読みを毎日続け、つまらずに読むことができるようになる。	A	○本読みカードや授業での音読指導の成果が児童の思考力、表現力の伸びにつながっている。	・音読やスピーチの機会を今後も継続して確保していきたい。	・授業参観で見せていただいたように、テーマを決めて、グループで調べたことや話し合ったことを発表する活動は、人の話を聞く力やお互いのことを認め合う姿勢につながるもので、どんどん進めてください。
	・「話す力」を向上させるためのスピーチ、話し合いの形態を研究する。	・教科を限定せず、様々な場面でスピーチの活動に取り組む。	・月に1度は、クラス全員の前でスピーチをする。	○続けて本読みやスピーチをすることで考える力がついてきた。		・スピーチの取り組みは、話すことだけではなく「聞く側」もその姿勢が必要である。今後は、聞く側への指導にもつなげていきたい。 ・「わからない」ことを大切にし、互いの気づきを教えあう活動を展開する。	・これからもペア学習やグループ学習を多く取り入れ、気づき、教え合う集団作り、それぞれの考え方を深めあえるような関係作りに取り組んでください。	
		・「書く力」を向上させる指導法、教材を研究する。	・ペア学習、グループ学習の場を設定する。	・友だちの考えと比較しながら自分の考えを深めることができる。		○ペア学習やグループ学習を取り入れることにより、どの児童にも「思考し、発言する」機会を与えることができた。 ○児童の「授業はわかりやすく楽しい」の項目では肯定的評価が91%、保護者の「わかりやすい授業に努めている」の項目では92%である。教師が、最も大切にすべき「授業」についてしっかりとした評価をいただいている。	・上記の「基礎・基本の徹底と授業改善」にある課題を中心に、教師一人ひとりが「だれ一人残さない」授業改善に取り組まなければならない。教科の特性を大切にした学び、協同の学び、質の高い課題提供に努める。	
	読書活動の推進	・読書活動を充実させ、語彙力・読解力・思考力の獲得を図る。	・要約文や感想文を書く機会を増やす。 ・学習の時間に書く事を入れる。 ・視写をする。	・時間内に思いや考えをまとめて書くことができる。	B	○書く活動を取り入れていくことにより、自分の思いや考えを書く力が伸びてきた。 ●物語文のあらすじのまとめや説明文の要約については、自分の思いや考えを書くことへの抵抗がなくなってきた。一人ひとりの能力に差がある。	・要約文や感想文を書く機会を引き続き増やしていくことが大切である。	
	読書活動の推進	・読書活動を充実させ、語彙力・読解力・思考力の獲得を図る。	・「読書の記録」の活用し、月目標や年目標を設定して、達成者を評価する。 ・読み聞かせの時間を増やす。 ・週2回15分の「朝読書」を継続する。 ・週末に読書の宿題を出す。	・児童のアンケートの「読書をするのが楽しい」の項目で、肯定的評価が85%以上になる。 ・1週間に少なくとも1冊は本を読む。	B	○図書時間に、好みの本ばかりを読むのではなく、いろいろなジャンルの本に興味を示すようになってきた。 ●「読書をするのが楽しい」の項目で「あてはまる」は84%である。	・「今週は、伝記物」など、ジャンルを決めて課題提示などの取り組みの工夫をしていく。	・まずまず高い数字であると思いますが、もっとも読書の習慣をつけさせたいと思います。 ・最近の子どもたちは、聞く力が低下しているので、目と、耳と、心で聴くような体験を多くさせたいと思います。
豊かな心・健やかな体	豊かな心を育む道徳教育・情操教育の推進	・豊かな心を育む道徳教育の推進	・実生活に合った道徳、人権教育の授業に取り組む。 ・「33の約束」「39のルールブック」を活用し、毎週1回目標を確認し指導する。 ・「月目標」を設定し、全児童、全職員で取り組む。	・他人に対しての「思いやり」と自分の「あきらめない気持ち」をもって学校生活をおくることができる。 ・冒険教育施設を有効に使う。	A	○「あいさつをする・時刻を守る・廊下を走らない」約束について全職員で共通理解を図り、児童への指導を行った。児童の「ルールを守る」意識は95%である。100%をめざす。 ○毅然とした姿勢で「ならぬことはならぬもの」を指導する。	・何か起きたときではなく、「普段から」継続して繰り返し指導を行っていく必要がある。	・「悩みをだれかに相談できる。」「学校行事が楽しい。」などの数値が高いことは評価できます。 ・みんなが元気で学校に来る環境づくりを進めて下さい。 ・善悪の判断ができるような子に育てたい。「ならぬことはならぬ。」ということをしつかりとおさえることが大切だと思います。
	いじめへの対応問題行動への対応	・いじめへの早期発見、早期対応を図る。	・子どもと一対一で懇談する時間を設定する。(随時) ・毎日、児童のよいところを見つけてほめる。 ・休み時間の様子を把握する。	・「なやみや不安があるとき、だれかに(先生や友だち・親など)に相談できる」の項目で、肯定的評価が80%以上になる。	A	○よいところを見つけたらすぐにほめる生徒指導を行った。 ○努めて子どもたちに話しかけ、寄り添うことを大切にしたい。 ○「なやみや不安があるとき、だれかに相談できる」の項目の肯定的評価が80%である。 ○「学校行事が楽しい」の項目の肯定的評価が98%である。	・「困ったこと」は言いやすいが、友だちのいいところを見つけ、伝え合う活動なども取り入れていく必要がある。 ・子ども達が不安のない学校生活を送ることができるよう、保護者や学校カウンセラーそして教師が連携をさらに深めていく。	・けじめをつけることや、目上の人を敬うことなど、家庭でのしつけも大事だと思います。 ・体力の低下が気になる。最近は習い事などが多いようだが、子どもたちが遊び、運動する場作りも大切だと思います。
	不登校への対応	・不登校傾向児童への早期対応を図る。	・保護者、担任、学校カウンセラーとの連携を深め、児童への働きかけを行う。	・早期対応に努め、不登校児童を出さない。	B	○対応が必要であると思われる児童について情報交換を行い、学校カウンセラーからの客観的アドバイスをを受け職員間で支援の仕方を共有することができた。 ●悩む子の気持ちに寄り添う。	・今後も学校カウンセラーとの連携を深め、一人ひとりの児童を多くの目で見守っていく。	・体育の授業や業間休みなど、様々な機会が子どもたちの体力作りに努めてください。
	子どもの健やかな体づくりの推進	・自らすすんで体力を向上させようとする意欲を育てる。	・体育の授業で、ストレッチ、ランニング、縄跳びなどの体づくり運動を発達段階に応じたものにして「がんばりカード」などを用いて体力の向上を図る。 ・「わくわく楽間タイム」を充実させる。 ・スポーツパッチの取り組みを保つ。	・学年に応じた「がんばりカード」で自分の伸びを記録し、設定した目標を達成させる。 ・全員すすんで外で運動するようになる。	B	○水泳、縄跳び、球技などで「がんばりカード」を活用することで目標をもって計画的に練習(運動)を進めることができた。 ○体育委員会の様々な外遊びの企画が子ども達の意欲を高めた。 ●全国調査の結果からの体力向上が課題として見えてきた。	・「がんばりカード」の取り組みについて教師間で情報交換しながら、さらに効果的な活用法を研究する。 ・委員会からの企画を計画的に進めることで、さらに楽しく運動することへの意識づけにしていきたい。 ・日常的な運動習慣をつけるため、SC21イベントへの参加など呼びかけ	・SC21のイベントなどでも、スポーツの楽しさについて知らせていきたい。
開かれ信頼される学校園	・学校情報の積極的な発信	・家庭と学校をつなぐため、学校情報を積極的に発信する。	・ホームページを通して学校情報を積極的に発信する。 ・「学校だより」、「学年通信」を充実させ、学校の情報を積極的に発信する。 ・保護者からの相談や質問に素早く丁寧に対応する。	・ホームページを更新する。 ・日常の学校生活を伝える。(週に1回以上更新) ・保護者アンケートの「先生に、子どものことを相談できる」の項目で肯定的意見が85%以上になる。 ・保護者、地域の皆さんの応援のもと、稲野を誇りに思う子を育てる。	A	○ホームページの週1回以上の更新ができた。全学年で関わる必要がある。 ○肯定的意見が84%である。 ○相互に交流し合える協同授業などを取り入れた。 ○公民館行事に児童会がボランティアとして参加し、地域貢献活動を行った。	・情報担当がHPを更新し確認する。 ・さらに肯定的意見が増すよう、今後も保護者からの相談などへの素早く丁寧な対応を続けて行く必要がある。 ・オープンスクールの期間に、参加型授業に取り組む。 ・図書や花壇整備、土曜学習などPTAボランティア組織を今後も大切にしていきたい。 ・PTA学力向上委員会の積極的な活動により「土曜学習教室」「漢字検定」「家庭学習の徹底・習慣作り啓発運動」などに積極的に取り組んでいただいた。継続を進めていきたい。	・地域のあたたかさに包まれながら、子どもたちは育っている。地域の行事等にもどんどん参加してほしいと思います。 ・合唱同好会や音楽クラブ、ソーラン隊などの活躍がうれしかった。地域行事が大変盛り上がり、ありがたかったです。 ・様々な活動を通して何かに自信が持てるような子に育てていきたい。
		・「信頼される教師の育成」と「信頼される学校づくり」を推進する。	・オープンスクールについての保護者への参加を促し、授業の内容も充実させる。 ・地域の行事にすすんで参加する。	・「夏祭り」「ふれあい文化祭」などに参加し、家庭や地域に個々の教師の姿を示す。		○「ふれあい文化祭」に音楽クラブやソーラン隊が参加し地域の方々に楽しんでいただくことができた。 ○「夏祭り」には教師バンドやお店で参加し積極的な姿を見せた。		

学校関係者評価総括
子どもたちは楽しく登校し、学習もよく頑張っていることがわかる。「授業がわかりやすい」という項目で児童・保護者共に肯定的な評価が90%と高い。先生方が授業研究会や研修会を開き、自己研鑽に努めている結果だと思う。さらに研修を深め、子どもたちに考える力、聴く力などをつけていってほしい。また、ペア学習、グループ学習などをどんどん取り入れ、気づき教え合う集団作り、それぞれの考えを深め合える関係作りにも努めて、課題である体力作りについては、運動を好きになる環境作りや、運動に親しめるような授業作りにも努めていただきたい。「悩みや不安をだれかに話せる」という項目で肯定的評価が80%以上なのは良い傾向であるが、様々な不安を抱える児童・保護者に寄り添いをお願いしたいと思います。

次年度に向けた重点的な改善点
＜学力向上に向けて＞
・研究発表会に向けての取り組みを教員の良き研修の場ととらえ、子どもたちの「考える力」や「聴く力」を育むことや、共に高め合える集団作りについて研究を重ねる。ペア学習・グループ学習などで子どもの思考力、判断力、表現力が高められたかなど、これまでの研究の成果を検証し、今後の課題や進めていく研究の方向について考える。
・自分の考えを「書く」ことによって表現する機会を増やし、思考し伝え合うためのコミュニケーション能力をさらに高める。
＜体力向上に向けて＞
・体育の授業や休み時間などを利用し、スポーツの楽しさを味わわせるとともに、体力向上への取り組みを行う。また、運動に親しめる環境作りにも努めていく。
＜開かれ信頼される学校づくり＞
・地域行事への積極的な参加、オープンスクールや参観授業の内容の工夫、ホームページの充実等を図りながら、地域・保護者の「稲野小学校の教育」への理解を広げる。

自己評価の基準 A: 目標を上回った B: 目標どおりに達成できた C: 目標をやや下回った D: 目標を大きく下回った